



関西広域連合に関する奈良県の考え

■屋上屋について

【奈良県】

どういった事務を持ち寄るかが課題。

持ち寄り方によって、屋上屋を架す組織になりかねない。

【関西広域連合】

基本的には、構成府県から広域連合に持ち寄った事務事業、権限については元の構成府県はその権限を失うため、これを広域連合と重複して行使する事はありません、「屋上屋を架す」という批判はあたらぬ。

■予算の奪い合いについて

【奈良県】

河川・道路等の公共事業の計画策定、予算の配分事務を持ち寄ると配分についての理念が確立されないまま、予算の奪い合いになりかねない。議席数の少ない県は不利になる。

【関西広域連合】

予算配分などについては、連合区域全体の中での行政ニーズや投資効果を考慮し、決定されることが基本になる。また、広域連合議会については、現在は構成府県議会に間接選挙となっているが、それぞれの議員は広域連合の区域全体を代表しており、予算の奪い合いや議席数の少ない県が不利になるといった批判はあたらぬ。

■行政の無駄について

【奈良県】

「広域的業務」と「府県業務」の区分が不明確なまま、広域連合の事務が増えると調整の必要性が大幅に増し、行政の無駄が発生する。

【関西広域連合】

広域連合の実施する事務と府県が行う事務については、広域計画を通じてその役割分担を明確にし、それぞれの整合性を図ることとしており、広域連合の事務を拡充したからと言って調整の必要性が恒常的に発生し、行政の無駄が生じるものではない。むしろ、関西という地域を構成しているはずの県が不参加となっていることで調整の必要性が増え、広域連合の事務を複雑化させることにはしないと案じている。

▲台風12号により被害を受けた地域の現状を把握するため有志議員と一緒に十津川村を視察し、村長や土木事務所所長さんから被害状況の説明を受けました。



迎春

災害に強い

奈良県づくりに取り組みます！

11月定例議会

補正予算は280億円規模 紀伊半島大水害の復興を軸に

12月14日に11月定例議会が閉会し280億円規模の補正予算が組み込まれました。主な配分は紀伊半島大水害の復旧・復興に向けた土木工事で約180億円が計上されました。

寸断された道路や砂防の復旧土木工事に約76億円。林道災害復旧に約16億円。そして災害で荒れた山を元に戻すために約11億円が投

入されます。また、黒滝村では特産品のアマゴ種苗生産施設の復旧にも予算がつきました。新たに被災者生活再建支援法の対象とならない被災世帯への生活再建支援金が支給されます。

紀伊半島大水害は過去100年間で類をみない降水量となったようです。紀伊半島全体で東京ドームの約80倍もの土砂崩れが発生し、東北地方を襲った大津波も大昔に記録されています。代表質問を行います。

そこで県の復旧・復興の基本的な考え方を紹介させていただきます。被災地域を迅速に回復させることは当然のことですが、災害に強いインフラづくりと、安全・安心への備えとして監視・警戒・避難のシステムづくりをあげています。

十津川村でも明治の頃に大水害に見舞われていました。災害はいつやってくるかわかりませんが、必ず来るものですから、そのための備えは万全でなければなりません。わたし自身も災害の復旧復興に強い関心があり、災害に強い奈良県の実現に向けてがんばってまいります。3月定例議会では

橋下徹氏の維新が圧勝

どうなる？ 関西広域連合参加

大阪市長選で関西広域連合を推進する維新の会が圧勝しました。このことは奈良県議会にも大きな影響を与えております。是非をめぐる論議が再燃すること間違いなく思われますし、一部の県議の方も参加に向けて積極的動いています。

さて、ここで改めて関西広域連合に参加をしない奈良県の主張と、関西広域連合の主な主張を上表にまとめました。

奈良県が主張するよう、いろいろな問題がありそうなのですが、いまは始まったばかりです。中身については参加府県の意見を聞きながら、よりよいものをつくって考えています。

広域連合に参加をしない奈良県の主張と、なかには奈良県が参加していないために、無駄な事務が発生していると言われています。

奈良県が取り残されることがあってはいけません。まずは参加して、そのなかで主張することも大事だと考えています。

いぬい浩之 活動報告

5月

- 18日・臨時議会
- 20日・臨時議会

6月

- 1日・県予算概要説明2日 県予算概要説明
- 9日・総務警察委員会
- 17日・地域交通対策特別委員会
- 18日・婦人バレーボール親善大会(広陵町)
・日本大衆音楽奈良県決勝大会(広陵町)
- 24日・議会本会議
- 27日・議会本会議
- 28日・議会本会議

7月

- 1日・総務警察委員会4日 議会本会議
- 10日・第37回北葛城郡少年野球大会(河合町)
- 15日・リニア新幹線奈良県期成同盟会
- 23日・1年生議員食事会

8月

- 3日・地域交通対策特別委員会
- 6日・平和祈念朝起会
- 13日・箸尾地区戦没者慰霊祭
- 18日・総務警察委員会
- 27日・王寺町美し丘まつり

9月

- 3日・県防災訓練
- 7日・合同委員会
- 14日・総務警察委員会
- 16日・地域交通対策特別委員会
- 19日・敬老の日式典22日 定例県議会開会
- 28日・本会議
- 29日・本会議
- 30日・一般質問

10月

- 3日・本会議(一般質問しました)
- 9日・広陵町体育祭
- 12日・本会議閉会
- 25日・1年生議員勉強会

11月

- 3日・広陵町文化祭
- 7日・県環境審議会
- 20日・全国植樹祭
- 29日・地域交通対策委員会
- 30日・本会議、総務警察委員会

12月

- 6日・本会議
- 7日・本会議
- 8日・本会議
- 9日・本会議
- 14日・本会議閉会

1月

- 5日・広陵町商工会賀詞交歓会
- 6日・上牧町出初式
- 8日・広陵町出初式
- 9日・広陵町成人式
- 9日・上牧町成人式

県政 HOT ニュース



中間駅設置費をJR東海が負担

奈良県を含むリニア中央新幹線の中間駅設置予定県は11月11日に、JR東海に対して費用負担に関する考えを聞きたいと申し入れを行い、21日に協議を行いました。その結果、当初、JR東海は従前の整備新幹線の公的負担方式(国 $\frac{2}{3}$ 、地方 $\frac{1}{3}$)ではいつまでも実現の展望が開けないと、中間駅の建設費を地元で負担としていましたが、中間駅も自社で負担し

奈良県を含むリニア中央新幹線の中間駅設置予定県は11月11日に、JR東海に対して費用負担に関する考えを聞きたいと申し入れを行い、21日に協議を行いました。その結果、当初、JR東海は従前の整備新幹線の公的負担方式(国 $\frac{2}{3}$ 、地方 $\frac{1}{3}$)ではいつまでも実現の展望が開けないと、中間駅の建設費を地元で負担としていましたが、中間駅も自社で負担し

プレミアム宿泊券で南部振興

水害に伴って南部地域の観光客の減少、宿泊キャンセルなどの風評被害を防止するため、官民連携で観光支援に取り組みことになりました。その内容は①額面1万円の宿泊券が8千円で購入できるプレミアム宿泊券②南部地域の会議開催に経費を補助③県内外での観光大型ディスプレイによる「元気メッセージ」発信④県



このうちプレミアム宿泊券は、吉野郡、五条市、宇陀市、宇陀郡内の184の宿泊施設が対象になります。奈良県庁、観光見本市の開催に併せて南部地域の元気アピール⑤県観光情報ホームページ「大和路アーカイブス」による観光情報発信などです。

奈良まほろば館、道の駅などで販売されます。南部の復興に向け、こうしたソフト面での支援も大切な取り組みです。

活動アルバム



東日本大震災の復興を願うチャリティーゴルフコンペを7月22日に、奈良市月ヶ瀬石打の「KOMAカントリークラブ」で開催いたしました。小雨模様のなか、約300人が被災地に届けとばかりにプレーに汗を流しました。大会会場には3つの募金箱が設置され、被災地への支援を訴える募金が行われました。25日には集まった募金10万1503円を広陵町に寄託、平岡町長から「みなさんの善意を日本赤十字社を通して被災地に届けます」とのお約束をいただきました。

2011年10月1日(土)～10月16日(日)馬見丘陵公園にて「ダリアまつり2011」が開催されました。なぜダリアかというと・・・なんと！我が奈良県は、ダリアの球根生産量日本一なんですよ！当日は、ダリアフラワーアレンジ実演やダリアに関するパネル展示など、ダリアの魅力を感じる分味わうことができました。